

(別表Ⅱ)

昭和三十一年度 重点を置く事業計画とその実施状況の概要

計 画 概 要	実 施 状 況
<p>(目標) 有給指導者及び有志指導者の継続的な養成をとおして出張所を中心とする管内組織網の拡大強化をはかる。</p> <p>(計画) ① 有給指導者の養成 ○ 公民館職員講習会 (対象) 市町村公民館職員 年令三十五才未満のもの 各町村一名の都市二名(十三市)</p> <p>(内容) 公民館の本質的機能の理解と活動を推進する能力の養成 ※2泊3日</p> <p>② 有志指導者の養成 ○ 青年学級研究集会 (対象) 公民館主事、青年学級主事 青年学級講師 (内容) 青年学級運営の再検討 ※2泊3日</p> <p>○ 青少年指導者講習会 (対象) 青年団体の指導者で将来性のある満二十五才以下の青年男女 (内容) 青年団体活動のあり方の再検討及び新しい活動の方向究明 ※2泊3日</p> <p>○ 北部地区婦人教育指導者会議 (対象) 北海道、東北六県の代表</p>	<p>公民館職員講習会 ① 農村部 イ 浜 方 部 6月14日～16日 鹿島町 ロ 会津方部 6月19日～21日 会津坂下町 ハ 中通方部 7月10日～12日 婦人会館 ② 都市部 6月26日～28日 郡山市</p> <p>県南方部 5月23日～25日 白河市南湖 県北方部 5月26日～28日 二本松町岳 会津方部 5月30日～6月1日 会津若松市 浜 方 部 6月6日～8日 磐城市、小名浜</p> <p>県北方部 7月16日～18日 二本松町岳 県南方部 7月31日～8月2日 西田村逢隈 会津方部 7月21日～23日 喜多方市関柴 中通方部 11月14日～16日 婦人会館 9月11日～13日 婦人会館</p>

資 料 の 提 供	
<p>(目標) 現場実践のための指導資料を発行し優秀事例の発見とその一般化に資する (計画) ① 資料「社会教育」の発行 月刊、毎回二、四〇〇部 B5 20頁</p> <p>② 社会教育資料</p>	<p>(内容) 婦人団体の教育的な働きについて婦人学級のすすめ方及び学習の発展について ※2泊3日</p> <p>○ 婦人指導者講習会 (対象) 中堅幹部または幹部となり得る婦人会員並びに婦人学級生 (内容) 婦人団体の教育的な働きと婦人学級の正しいすすめ方について ※1泊2日</p> <p>北会・耶麻・両沼 9月24日～25日 会津若松市 南会 9月26日～27日 田島町 田村・安積 10月1日～2日 郡山市 東白・西白・石川 10月3日～4日 白河市 相馬・双葉 10月8日～9日 原町市 石 城 10月10日～11日 磐城市湯本 安 達 10月16日 安達村 伊 達 10月17日～18日 飯坂町 信 夫 11月10日～11日 飯坂町 岩 瀬 11月27日～28日 須賀川市 福島市 12月5日～6日 福島市</p> <p>① 一月 市町村における社会教育費 二月 マス・コミの教育的再編成 三月 三十年度の回顧と展望 四月 新年度の実践課題をどうとらえるか 五月 合併後の公民館 六月 前進する青年会 八月 P・T・A 九月 婦人と社会教育 十月 婦人教育における問題の所在 十一月 農村の学習集団はこれであるか 十二月 社会教育費編成について訴える</p> <p>② 「新しい青年団のあり方」 「共同学習」 「社会教育の現況とその問題点」 「教育集団としての婦人団体および婦人学級の現状とその問題点」 「県文学集第三集」</p>